

林 智良
法学研究科・教授

【研究】

令和5年8月には、フィンランドで開かれた第76回国際古代法史学会(SIHDA)にて口頭発表をおこなった。その内容について、年度内の活字化はかなわなかったが、令和6年度の論説化を目指している。『法制史研究』誌に、大学院生時代の指導教官である柴田光蔵の研究と軌跡を振り返る追悼文を寄稿し、その学問的意義を位置づけた。令和4年度に引き続き、科研費基盤(B)の研究代表者として、共同研究の調整をおこなった。令和5年9月以降から年度末に至るまで、令和6年9月に大阪大学中之島センター他で開催予定の第77回国際古代法史学会(SIHDA)の準備を本格化させた。

【教育】

全学共通教育科目「法の世界」、法学部専門科目「法学の基礎(オムニバス担当)」・「ローマ法」・「専門演習」、大学院法学研究科科目「ローマ法」・「ローマ法特殊講義」、を担当した。大学院学生を対象にラテン語の初歩を教えた。大学院博士後期課程学生対象の研究指導をおこなった。

【管理運営】

国際公共政策研究科協力講座担当、全学共通推進機構兼任教員、法学教官会幹事を務めた。

【社会貢献】

奈良県上牧町の政治倫理審査委員を務めている。法制史学会第75回総会を2024年5月に大阪大学にて開催するため、開催校責任者に任せられ、三阪佳弘や的場かおりら他の教員と協力して準備にあたった。